

大田区立伊豆高原学園主催事業における 新型コロナウイルス感染症防止対策について

2022年8月1日時点

●事業運営について

【事業実施基準について】

- 政府の緊急事態宣言に基づく都道府県の外出自粛要請下でない
- 都道府県独自の基準による緊急事態宣言(外出自粛要請、他県への移動自粛要請など)がない。

上記の他、市区町村別に感染拡大状況や関係機関との協議によって、プログラムを中止とする場合があります。

【スタッフの参加条件】

- 事業開始日からさかのぼって、14日間以内に発熱・咳などがある方との接触がない。
- 事業開始日からさかのぼって、14日間以内に37.5℃以上の発熱、平熱から+1℃の体温を超えていない、咳、のどの痛み、倦怠感などの体調不良がない。
- 14日以内に日本国外全域への渡航をしていない。
※各自事業開始14日前から体調チェックの記入を行い、異常がある場合は上長へ報告相談する。

【参加者参加基準】

- 事業開始日からさかのぼって、7日間以内に37.5℃以上の発熱、平熱から+1℃を超えていない。
- 事業開始日からさかのぼって、7日間以内に参加者、家族に感冒症状を発する人がいない。
(感冒症状：発熱、強いだるさ、咳、痰、のどの痛み、息苦しさ、下痢、嘔吐、味覚や嗅覚の異常)
- 参加者、家族または接触者に過去14日間にわたり新型コロナウイルス陽性者がいない。
- 参加者、家族の通う学校、職場等でコロナ感染による休校、休業がない。
- 飛沫を予防するマスクを各自用意できる。

※参加者の通う園、学校での新型コロナウイルス感染症を原因とする休園や、休校又は学年、学級閉鎖措置が発生している。または、保護者の方の勤務先で新型コロナウイルス感染症を原因とする休業などが発生している場合は、担当者までお知らせください。

●イベント実施における感染予防策

3密回避を徹底する

密室：屋内や自動車をを用いる場合、換気のための「窓またはドア」を2面以上開放する。

エアコン使用時は、外気導入もしくは1時間に10分程度の換気を行う。

室内は2箇所以上の通気をして、風通しのよい状態を確保する。入室前には、手洗い・うがい・諸毒を必ず行う。

密集：室内を使用する場合、施設定員の感染症ガイドラインに準ずる。

密接：食事については配膳に配慮し、各々が飛沫距離以上の距離を置く。

：不特定の人々と交わる空間の飛沫範囲内に行動が伴う場合は、マスクを着用する。

手洗い手消毒の徹底

食事前や外出から戻った際などは、石鹸による手洗い・アルコールなどによる手指消毒を実施する。
また、そのための時間を確保した運営を行う。

●活動中の感染防止対策

【運営について】

- ・日中の活動は「野外での活動」を基本とし、室内で実施する場合は十分な換気を行う。
- ・水分補給はご家庭でご持参いただいた水筒のみからとする。また補充上に、家庭ごとペットボトル飲料を提供する。
- ・野外での遊びや活動時のお互いの距離感については、制限を設けないが(手をつなぐなど)、適切なタイミングでの手洗いを指導し行うこととする。
- ・野外のフィールドに出る場合も「消毒液(手指用アルコール)」をスタッフが携帯し適宜使用する。

【マスク着用のルール】

- ・室内での活動の際は必ず着用する。
- ・野外でのマスク着用に関して、野外での体を動かす活動時は、熱中症や窒息などのリスクを避けるため原則マスクは外す。子どもの場合、本人が着用を嫌がり、適切な管理ができない場合は、着用を必須としない。
- ・プログラムの集合、解散時には保護者の方にマスクの着用を依頼する。
- ・マスクは各自で日数分+予備の持参を原則とし、持参できない場合はご相談いただく。

【手洗い、消毒の徹底】

- ・集合時、施設への入室時、トイレの後、食事、調理の前、症状がある人に触れたとき、解散時など適宜手洗い消毒を行う。
- ・手洗いの際には、共有のタオルやハンカチを使わず、個人の物か、使い捨てのペーパータオル、自然乾燥とする。

【事前の体調管理と検温、体調確認】

- ・参加時には1週間前からの体調を確認する。(指定用紙に記入し、集合時に提出)
- ・宿泊では1日2回(朝夕)の検温を全員に行う。同時に体調の具合をスタッフが口頭で確認する。
※あきらかに熱疲労などの症状の場合は、現場で判断し対応する。

【感染予防エチケットを身につける】

- ・咳やくしゃみをする時には、マスク、ティッシュ、上着の袖などで覆ってからするように指導する。手で覆うことはせず、手で受け止めた場合はすぐに手を洗い、消毒を行う。
- ・咳などをしない場合でも、鼻や口にむやみに手で触れず、触った手で他者や共有物を触らない。

●衛生管理

【食事について】

◎食堂利用について

- ・入室時には手指のアルコール消毒を行う。
- ・食堂内は空気を入れ替えるために窓を開け換気を行う。
- ・朝食のバイキングは当面の間休止し、一人ひとり配膳したものを用意する。

◎アウトドアクッキングについて

- ・調理、食事は野外で行う。
- ・調理、配膳は子どもが行う場合でも、マスクを必ず着用し調理時の適切な衛生管理を行う。大皿から取り分けることはせず、個別の食器に盛り付けをする。
- ・使用する備品は前後に消毒を行う。

上記の参加基準・感染対策については変更する場合がございます。